

防災メモ 記入したら、コピーして持ち歩くか、各自が携帯電話で撮影

火事・救急は
➔119

警察は
➔110

災害用伝言ダイヤルは
➔171 ダイヤル後、録音は①、再生は②

家族の連絡先

氏名	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号	携帯電話番号

連絡方法

①
②
③

その他連絡先

①	☎
②	☎
③	☎
④	☎
⑤	☎

避難場所・集合場所

①
②
③

災害情報などを配信する「くじゅうくり安全・安心メール」

●登録方法

- ①事前準備
「anzen@town.kujukuri.chiba.jp」からのメールが受信できるよう携帯電話等の設定を変更してください。
- ②空メール送信（仮登録）
「kujukuri@entry.mail-dpt.jp」に空メールを送信
- ③仮登録受付メール受信後、本登録
仮登録受付メールが自動返信されたら、メール本文のURLから本登録用ページにアクセスし、画面の指示に従い、本登録をしてください。

●配信内容

- 【防災・気象情報】
災害情報、緊急情報などを配信
- 【防犯情報】
犯罪の発生状況、不審者情報などを配信
- 【行政情報】
町からのお知らせなどを配信
- メールアドレスがあれば、どなたでも無料で登録できます。
※配信の登録や変更、削除、メール受信などにかかる通信料は利用者の負担となります。

こちらから登録用アドレスが読み取れます



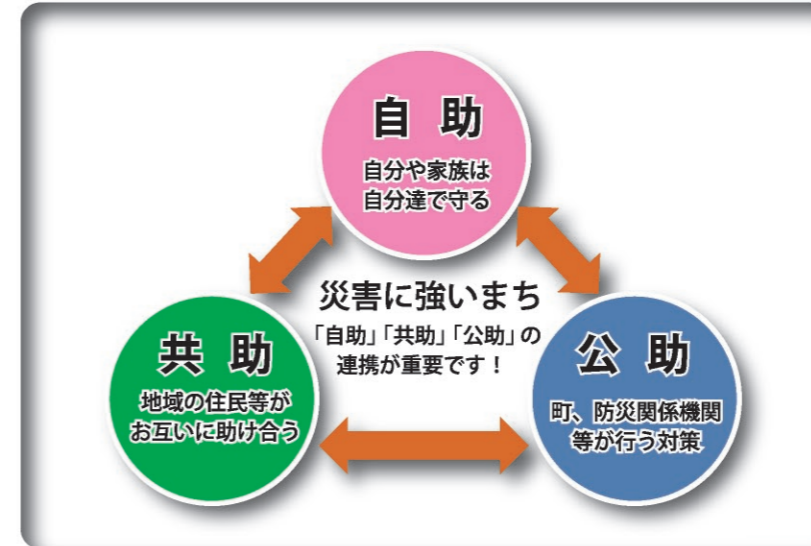
くじゅうくり 防災ガイドブック



九十九里町地域防災計画 概要版

九十九里町津波避難計画 概要版

災害を乗り越えるためには
～自助・共助・公助の連携～



目次

災害に備える	1～4
地震に備える	5～6
津波に備える	7～10
風水害に備える	11～12
地域防災計画・津波避難計画について	13～14

地震や津波等の災害の発生を防ぐことはできませんが、自助、共助、公助が連携することで、被害を減らすことができます。特に、大規模災害が発生した場合は、発災直後から様々な活動が必要となり、これらの対策を行政による「公助」のみで行うことは不可能です。このような状況の中で、被害を軽減し、災害を乗り越えるためには、自分の身は自分で守る「自助」、地域でお互いに助け合う「共助」と、行政による「公助」がそれぞれの役割を分担し、連携して災害対策を行うことが必要となります。